

# 町の 議会だより

No. 84

平成21年11月発行



みんなの元気が町の活力へ

## — 主な内容 —

9月定例会補正予算・条例など.....	P2~3
平成20年度決算認定.....	P4~5
一般質問（5名）.....	P6~10
委員会の活動.....	P11
町民の声.....	P12

# 9月 定例会

## 一般会計

# 基金積立 病院負担金 など二億補正

九月定例会は、九月八日から二十五日までの十八日間と会期を定め、平成二十一年度一般会計補正予算・特別会計補正予算五件、二十年度決算認定、条例の一部改正三件、また、個別外部監査契約に基づく監査を求めることなど十二議案を上程され、二議案を議員発議し、審議の結果、原案通り可決、又は認定しました。



受診は日野病院で

**第3回** 平成二十一年度一般会計当初予算は、四年ぶりに黒字予算でスタートして早や六ヶ月が経過した。九月補正予算は、平成二十一年度決算に伴う繰越金、平成二十一年度の普通交付税の額の確定などにより、二億七百八十七万七千円を追加し、総額を三十三億五千四十六万五千円としました。

### 主な内容

#### 【歳入】

- 固定資産税 一千七百四十一万六千円
  - 地方交付税 一億二千二百三十九万三千円
  - 国県支出金 一千九百六十二万七千円
  - 前年度繰越金 四千八百二十四万円
  - 臨時財政対策債 二千六百十六万五千円
  - 基金繰入金 △二千六百二十七万四千円
- 財源の見通しがついたこと

#### 【歳出】

- 財政調整基金積立金 九千五百万円
- 全国瞬時警報システム整備費 七百五十万円
- 老人保健特別会計の繰出金 二百三十一万一千円
- 日野病院組合への負担金 六千三百五十三千円
- 有害鳥獣対策費 六十二万九千円
- 公有財産購入費 百七万三千円
- 県との分収造林（津地の大谷山五杉）の契約期間が満了したため、県の権利（二分の一）を取得するもの。
- 緑の産業再生プロジェクト事業費 二百五十万円



イノシシの柵づくり



## 条例など

### 日野町国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金35万円を39万円に10月1日より引き上げるもの。(産科医療保障制度のある病院で出産した場合、3万円が上乗せされ42万円となります。平成21年1月1日から23年3月31日までの時限立法です。)

### 日野町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例の一部改正

井ノ原地区飲料水供給施設が個々で対応することになり条例から削除するもの。

### 個別外部監査契約に基づく監査

地方公共団体の財政健全化に関する法律により(本町は実質公債費比率が30.2%と高いので)個別外部監査を受けるもの。

### 個別外部監査契約の締結

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、米子市の米川收税理士に委託するもの。(50万円以内)



財政状況の説明を受ける税理士

### 日野町江府町日南町衛生施設組合理約を変更する協議

監査委員を3名から2名に減らすもの。

鳥取日野森林組合が行う間伐に対する補助。  
○消費者相談窓口の設置整備費 百八十九万二千元  
○道路維持費 八十六万円  
町道渡線の道路陥没による

修繕など。  
第4号 予算額はそのままとし、科目間の組み替えにより、本郷地内の町営住宅の屋根の修繕(四十一万一千円)をするもの。



## 特別会計

(単位:千円)

区分	補正額	総額	歳出の主なもの
国民健康保険	△2,250	426,246	出産育児一時金増額35万→39万円 療養給付費等実績に伴う返還金など(額の確定)
老人保健	2,311	3,523	診療報酬等の精算に伴う返還金
介護保険	30,989	634,451	保険給付費等の前年度実績に伴う返還金

## 平成20年度末現在の基金

(単位:千円)

基金名	金額
財政調整基金	274,385
減債基金	40,076
地域振興基金	7,650
地域福祉基金	1,825
造林基金	13,045
建設機械整備基金	2,994
町営バス購入基金	3,002
観光振興事業基金	3,955
愛と元気の日野町ふるさと基金	1,795
土地開発基金	16,324
肉用牛特別導入事業等基金	8,162
受精卵移植基金	3,018
国民健康保険財政調整基金	108,700
介護給付費準備基金	44,443
介護従事者処遇改善臨時特例基金	4,152
合 計	533,526



# 財政健全化へめど

## 20年度決算を認定

九月定例議会で、平成二十年度の決算が上程された。決算審査特別委員会を設置し五日間にわたり慎重に審査を行った。

歳入において滞納額が一億八百万円を超えるという厳しい財政状況の中、一億八百万円を超す黒字決算となり六千万円の基金繰り入れは、経費削減に向けたたゆまぬ努力と、財政健全化を目指す意識改革が浸透した成果とみなし、賛成多数で認定した。

### 個別的所見

#### △一般会計▽

歳入に関しては、調停総額に対する収納率九六・六割は前年比〇・七五割低下している。

滞納額は、一億八百二十六万七千八百三十八円で昨年度に比べ二百五十一万六千六百八十六円増加している。住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の滞納額が大きく、町民税・固定資産税・住宅使用料・保育料についても滞納が見られる。

財政上深刻な事態であり、きめ細かな徴収対策を講じ危機感を持って取り組まなければならない。歳出に関して、各事業の執行状況はおおむね良好で、経費などの節減努力が見られ、実質収支額で一億八百二十四万八千九百十九円の黒字決算は、成果と判断し評価できる。

今後、財政健全化に向け一層の経費節減に取り組まなければならない。

#### △特別会計▽

##### 国民健康保険

滞納額は二千六百五十六万六千四百八十九円と件数金額共に増加している。

##### 後期高齢者医療保険

収納率100割は鳥取県下で日野町だけであり、良好と認められる。

##### 簡易水道

##### 公共下水道事業

##### 農業集落排水事業

滞納額が前年度より大幅に減少している。わずかではあるが滞納額があり回収に努められたい。

全国二十市町村が「早期健全化団体」に指定された。

本町もその中にあり実質公債費比率三〇・二割は高く、全国で上から三番目である。

税金等の年度別滞納額 (単位:万円)

区分	17年度	18年度	19年度	20年度	
一般会計	9,317	10,044	10,575	10,826	
主なもの	住宅新築資金等貸付金	7,522	7,817	7,846	7,571
	災害援護資金貸付金	532	840	1,205	1,549
特別会計	2,165	2,271	2,740	2,797	
主なもの	国民健康保険特別会計	2,081	2,182	2,491	2,656
	介護保険特別会計	22	23	85	38
	簡易水道特別会計	4	8	112	52
	公共下水道事業特別会計	22	23	85	38

平成20年度一般会計・特別会計7件

収入総額	45億3,917万3,590円
支出総額	43億8,165万3,808円
差引額	1億5,751万9,782円







県大会で金賞に輝いた日野中学校吹奏楽部

## 指摘事項

### 補助金

使途について、補助事業の  
主旨と目的をよく検証して実  
施すること。

### 不用額

経費節減の努力の成果と評  
価するが、一部において計画  
確認、実行の不徹底による不  
用額があり配慮されたい。

### 町道の維持管理

委託業務範囲確認と、終了  
時の現場確認を徹底。効率的  
管理、二次災害発生防止、費  
用対効果を考えて発注のこと。

### リース契約調書

執行方法、契約業者名を表  
示すること。

### 日野町体育協会のあり方

D.Oスポーツとの関係の明  
確化について検討されたい。

### ぼかぼか教室

「医療・福祉・保健」の推  
進は重要な課題であり、各課  
の連携等を図り全町普及に向  
け努力されたい。

### 町営バス

超少子化の現状を踏まえ小  
中学生の通学利用について、  
子育て支援や交通安全の面か  
ら、見直しの方向で検討さ  
れたい。

## 総括意見

指摘した事項について、十  
二月定例会までに改善策を議  
会に報告すること。

## 討 論

### 反 対 佐々木求議員

一般会計で二千五百万円の  
滞納額が増加している。一億  
以上の滞納額の九千万円以上  
が、住宅新築資金等貸付、災  
害援護資金であり、多大な財  
政上の負担となっている。

これを改善するためには、  
政治的信念に基づき、計画の  
実行に取り組みなくては解決  
にならず滞納額が増加する。

同和対策事業に一千七百万  
円が投入され、特に支部には  
八十万円の補助金があり、補  
助割合が高い。聖域として改  
善されず、莫大な支出がされ  
ている。

財政再建を進め健全運営を  
推進している中で、改善がな  
されていない。

### 賛 成 中原 明議員

平成二十年度予算では、三  
千八百二十二万八千円の財源  
不足額を諸収入に計上したが、  
決算では一億八百二十四万円  
の剰余金を算出、六千万円を  
基金繰入した。実質公債費比  
率三〇・二割は、十九年度よ  
り〇・八割下がっている。

滞納金減額に対策強化の徹  
底、補助金、不用額等指摘事  
項はあるが、財政再建に真剣  
に取り組まれた成果であり評  
価される。決算を不認定とす  
るような重要な事項は見受け  
られない。

平成二十年度決算を認定す  
ることに問題はないと思われ  
る。

### 反 対 一名 賛 成 八名

## 決算審査特別委員会

委員長 小谷 博徳  
委員 石田 幹暢  
竹永 明文  
佐々木 求

中原 明  
宮田 和也  
松原 直人  
松本 利秋

(議長・監査委員は除く)





松本 利秋議員

## 観光で町の活性化を

### 金持神社やオシドリ 観光客を町内へ

松本 既存の公園や施設等を有効活用し、観光の掘り起こしを行って本町への流入人口を増やし、町民が元気で賑わいのある町にしたい。

本町の観光の目玉である金持神社やオシドリ観察に来られた方を日野町内の観光地にも足をのばしてもらおう方を、町長 金持神社は、町観光協会の有志の皆さんの並々ならぬ努力で、全国で紹介され、観光の名所地（年間十八万人）として築き上げて頂きました。また、オシドリ観察は、冬場の五ヶ月間に約二万人の方が来町されています。

いずれも、町民の皆さまが先頭に立って、町を元気にして頂き、それを行政がバックアップする。そのことが町を活性化させる成功のカギではないかと思ひ、できるだけ支援をしたいと考えています。松本 町内観光用に一般的な観光パンフレットの他に、例えば①食べ歩きコース②歴史・文化コース③山歩き散策コースといった案内書を作成し、金持札所やオシドリ観察小屋等に置いたらどうか。町長 目的を持ってこられる

方も多いようであり、コースごとのパンフレットを考えてみようというところで、日野総合事務所を中心として作成しています。

これを金持神社やオシドリ小屋に置かせて頂いて、そこにいるいろと話をしながら地域の方とも交流を深めていくことが大切ではないかと思ひます。今の意見を踏まえて実現したいと思ひます。

### 文化財を観光に

松本 本町の貴重な文化財や史跡、また全国的に著名人を輩出しており、その研究と掘り起こしをし、観光に結びつけることは出来ないか。特に、本町出身の画家の作品を一堂に展示して見ってもらうことも一考かと思ひます。



金持神社の参拝客を町内観光へ

町長 私も常に、そのことを念頭においています。先輩諸氏の非常に立派な絵画等々が粗末に扱われているくらいがあります。これらは文化財だと思ひます。できましたら、一堂できちんと管理の出来るものをつくる必要があると思ひています。これは近い将来への課題であると考へています。

### 議会のうけ

8月	3日	県町村議会広報研修会
4日	決算審査	
5日	決算審査	
6日	地域高規格道路江府三次線要望活動	
7日	人権尊重県研究集会	
10日	西部町村議会正副議長局長合同研修会	
11日	例月出納検査	
17日	決算審査	
18日	"	
21日	"	
25日	日野病院組合議定例会	
26日	教育民生常任委員会	
27日	総務経済常任委員会	
28日	日野町江府町日南町衛生施設組合議定例会	
28日	西部議長会連絡会議	
28日	県町村議会常任・議会運営委員長研修会	
9月		
2日	議会運営委員会	





小谷 博徳議員

## 住民サービス 低下を危惧

### 投票所の 削減をするな

小谷 投票所を九カ所に削減されたが、住民との合意形成は出来ているのか。  
町長 町の選挙管理委員会が十九年度十五カ所あった投票所を九カ所に見直された。その理由は町の人口減少や職員の大幅な減少などで集約化が図られたため。

住民との合意形成は、十五カ所の直近の選挙投票率が八一・四八割、九カ所で行った今回の衆議院選挙が八一・五九割とほぼ変わっていない。期日前投票・不在者投票・投票時間など制度として配慮したことで町民理解は得たと思っている。

小谷 高齢化率が進み住民は不満を言いながら投票所に出かけている。実態を把握し住民本意の施策は出来ないか。  
町長 隣近所誘いあって投票する。これが地域コミュニティーであり一番期待している。小谷 職員も減少したといわれるが八十五人いたときに一方所あたり五・六人、今回一方所あたり六・八人となり十二カ所は開設できる。  
町長 これからも人口は減る。交付税は下がる。いつまでも

六十人体制を続ける事は不可能で将来展望を見れば九カ所は妥当と考えている。  
小谷 憲法に「国民等しく選挙を行う権利」が認められている。コミュニティーの醸成で平等な参政権の保障が出来ると思うか。  
町長 この問題をいかに論じても過疎が進む中、問題解決にはならない。夢としてはあるが移動投票車の巡回などに提案したい。

### 基本検診場を増やせ

小谷 昨年六月の一般質問で

住民基本検診を二カ所に削減した理由として、プライバシーが遵守されること。バリアフリーであること。バスの設置要件を挙げられた。地域の要望もあり要件を満たしたところがあれば増やす考えか。  
町長 二カ所で不十分なのか、日野病院でも受けられる手厚い施策をとっている。高齢の方で病院に行ったときに検診出来るPRがもつと必要だ。現実には高齢化はどんどん進んでいる。二カ所で良いかどうかを含めて検証してみたい。



近場で受診できるように

4日	西部町村議会議員研修・球技大会
6日	中学校体育祭
8日	第六回町議会定例会 全員協議会
9日	決算審査特別委員会 総務経済常任委員会 教育民生常任委員会
10日	例月出納検査
11日	第六回町議会定例会 決算審査特別委員会
14日	〃
14日	県町村議会議長会正副会長地区代表者会議
18日	決算審査特別委員会 議会広報調査特別委員会
25日	第六回町議会定例会 総務経済常任委員会
27日	町民体育祭
10月	
4日	南部町制五周年記念式典
9日	例月出納検査
10日	日吉津村制百二十周年記念式典
14日	町慰霊祭



## 記録的豪雨災害 対策の確立を



中原 明議員

### 避難勧告伝達の マニュアルは

中原 本町は災害に強いまちづくりを目指しているが、地震対策が中心である。豪雨、豪雪、火災に対する基本姿勢を示されたい。

町長 災害に強く、安心・安全で暮らせるまちづくりを念頭に、迅速に対応し町民の生命、財産を守るのが使命である。

中原 政府は避難勧告等の判断、伝達マニュアルガイドラインを示し、マニュアル作成を求めたが、本町はどうか。町長 県防災無線を活用して災害発生が予測される場合対応する。ルールやマニュアルを策定するのではなく、現在策定している地域防災計画で対応する。

### ハザードマップの 作成はいつか

中原 土砂災害ハザードマップ作成は、どうなっているか。町長 山間地域で急峻な地形の低地に集落が存在している。避難場所に制限があり、検討を加えマップの整備を早々に進め、周知徹底を図りたい。中原 十八年九月議会で、町には土砂災害危険箇所及び浸

水想定地域を明示したマップの作成と、住民への配布が義務づけられており、十九年度には作成し、活用したいといわれたが、どうなっているのか。

町長 県が調査して示したマップは、町内大半がレッドゾーンになる。公開すれば精神的に動揺しパニックになり地域から人がいなくなるのでこの制度には問題がある。

中原 危険地区だからこそ警戒避難体制を周知するべきだ。教えたら大変だから黙って伏せておけ、知らぬが仏で良いのか、最善を図られたい。町長 公表するからには、町長として責任あるものにした。県の調査の中身を検証し、納得できれば公表する。

### 雨量と水位の シミュレーションは

中原 本町は、雨量と水位の上昇による被災のシミュレーションを作成してあるのか。



鳥取県西部地震から9年フォーラム

町長 作成していない。洪水ハザードマップで町内の浸水被害想定区域の情報提供を県から受け、状況を判断し迅速に対応し被害を最小限に止めたい。

中原 洪水ハザードマップの未整備は、本町ほか、三市町村と報道されたが、本町ができないのは、何が問題なのか検証し早急に作成されたい。町長 情報を的確に捉え、後手にならぬよう速やかに避難勧告をする。情報公開をするのが大原則であり、私の基本的な考えである。

### 西部町村議会 議員研修会

九月四日、西伯郡伯耆町で表彰式と研修会が開催されました。町村議会議員として、通算十八年以上在籍し功労のあった者として、

佐々木周子議員

竹永 明文議員

が表彰されました。

研修会では「少子高齢化と人口減少に社会増が及ぼす影響」と題して、財団法人とっとり地域連携・総合研修センター元研究員、松本 緑氏が講演され、

鳥取県の人口は平成七年をピークにその後、減少し続け、人口構成は、少子高齢化している。それ以外に社会減（若年層の県外流出・高齢者の山間部から都市への移動）も著しく、人口減少の社会的要因となっている。

その対策として若者の県内就職促進による定住化、県外就職者のインターンシップによる定住化が必要といわれ、そのために地域の知恵と工夫によるオリジナ





松原 直人議員

## 根雨街部の排水対策



改修が急がれる水路対策

### 根雨街部の谷川管理は

松原 相次ぐ豪雨災害、今夏、日本列島で続く天候不順などの状況を踏まえ、根雨の街部には、宝山谷川から二軒茶屋川の間、六ないし七本の谷川があります。川・谷川に対する基本的な考えは、

町長 板井原川、小川尻川、天郷川、近江川などの河川については、鳥取県で管理されています。お尋ねの谷川ですが、俗に申しますと青線です。この水路敷きにつきましては、基本的には町の管理となっております。

青線の中には農用水路等も含まれているので、受益者や利用者の皆さんにもご協力

いただきながら管理をいたします。

しかし、小さな河川にあっても危険渓流につきましても県が指定し、山林の崩壊防止のための治山堰堤や土石流を防止するための砂防堰堤、流路などを整備して、住民の皆さんの生活の安全を守ります。

松原 山側の用水路では設置したU字溝が小さく処理できないで溢れ床下浸水する恐れがあります。大雨を皆さんが心配しています。その対策は、町長 根雨街部の雨水対策は、とのお尋ねですが、以前から豪雨時には山手側の水路から雨水があふれ、住宅がたびたび浸水の被害を受けていることから、雨水の排水施設の整備を望む声がありました。

これらの解消を図るため、平成五年度に町特定環境保全公共下水道事業に二十四分の計画面積で雨水排除の事業認可を得て、地元協議を重ねたものの、合意が得られず平成十年に断念しました。

今後は、事業の必要性等、気運が高まっていけば協議を重ねて実施したい。

松原 山側の用水路より中の用水路、次に下の用水路へ、そして板井原川や日野川へオーバー水を放流する計画案は、町長 もともと街内の水路の断面は小さく、合流した場合には水路近辺の人家が冠水することになります。

地元で十分協議していただく必要があります。

### 例フレッシュひのの清算は

松原 事業撤退から二年経ちました。例フレッシュひのの(町の出資金百五十五万)の清算は、どうなっているか。町長 清算には、代表取締役が社員を召集し、総会を開催してその決議が必要である。代表取締役が召集権を行使していないでいる状況が続いています。

ルな工夫をしなければ定住する地域に結びつかない、と結ばれた。



財政推計を聞く

### 全員協議会

十月二十九日、全員協議会を開催。

執行部より、地域活性化・経済危機対策交付金事業と財政推計について報告を受けた。

地域活性化・経済危機対策交付金事業(議会だより八十三号で紹介)は政権が替わり一部の事業を凍結していたが、見通しがついたので計画通り、実施(繰越事業を含む)する。

(次ページに続く)



# 一般質問

5人が立つ

## 循環型社会をめざす 取り組みを



佐々木 求議員

### 下水汚泥を 出さない計画を

佐々木 下水汚泥は、日野町江府町日南町衛生施設組合の消化園で処理し、さらに西部広域のエコスラグセンターで処理し埋め立てている。

この二年間、黒坂の農業集落排水施設で行っている汚泥消滅化装置により残渣は全て消滅している。

消化園の施設も老朽化が深刻になってきているが、導入すれば経済効果が高く、財政再建上も大きな効果が期待できるだけでなく、

循環型社会を構築していく上で、意義も大きい。

日野町江府町日南町衛生施設組合でリーダースhipを発揮し、合意形成を図るべきではないか。町長 汚泥消滅化装置に百五十名を超える視察を受け入れてきた。消滅化委託金百七十五万円支出したが、平成二十年度では、二百万円の経費



汚泥消滅化装置で経費節減

節減となった。

日野町江府町日南町衛生施設組合の事業計画の見直しが必要となるが、担当課長会議においても慎重に検討をさせている。町単独で処理すると収集運搬費、負担金等考えれば三千万円程度の費用が必要であり、建設費は別としても相当な効果が見込める。

消化園の施設老朽化に合わせ、早急に方向性を出す必要がある。エコスラグセンターとの関連もあり、慎重な対応が必要である。

### 食用「廃油」処理を

佐々木 おしどり作業所の菜種採油事業は、作業所の人達に地域社会の中で役割を立派に果たしてもらえ、そういう可能性が広がった。

家族の皆さんが作業所に出してくださるよう支援していただくことが非常に大事だが、その先鞭がつけられた。

作業に従事する人の数、その他を考えると、もう一つ事業を考えていく必要があると考え、廃油処理事業の具体的な提案を行うがどうか。

昨年、家族会が解散するという事態を踏まえ、財政支援を社会福祉協議会任せでなく、一緒に考えていく必要があるのではないか。

町長 廃食油処理が取り組みの一つの課題として検討されたならば、通所者にとってもより作業の選択肢が広がり、魅力ある作業所運営が可能になると思う。

作業所が存続し続け、いきいき活動し、生活していただけるよう支援していく。

財政推計は、毎年度の決算を受けて町が開示しているもので、問題になってくる実質公債費比率は三カ年平均（平成十八年度・十九年度・二十年度）であり平成二十年度は三〇・二割（全国ワースト三位）であるが、二五割を下回るのが平成二十四年度になる見通しであると報告があり、了承した。

次回の定例会は12月です

傍聴にお出かけください。

議会事務局 72-0335





町道久住線を視察

## 委員会では こんな活動しています

### 進捗状況を現地で調査

#### 総務経済常任委員会

国の平成二十年度、二十一年度補正予算関連事業における、本町関係の地域活性化事業、生活対策実施計画、緊急雇用創出事業、経済危機対策計画事業等について、担当課より概要の説明を受け、聞き取り調査、検証を行った。

委員会で協議の結果、次の三件について、九月二十五日、現地調査を実施した。

#### 平成二十年度事業

##### ・久住放牧場整備

放牧牛の餌となる草地面積の確保、利用促進、畜産振興を図ることを目的に権木刈り等の施設整備が進められ、新規雇用計画百八十人役のところ、九月十七日現在百二十人役で進捗率六六・六割であり完成予定日九月三十日をめざしている。

#### 平成二十一年度事業

##### ・町道久住線道路改良

現地において担当課より、久住分校までの間六百メートル五割に拘わらず道路改良を計画、路線測量完成、設計概要完成するが、工事発注は政権交代により予算執行が不透明なため、当分の間中止している。との事業内容の説明を受けた。

##### ・特産品沢ガニ養殖

技術伝承のための調査、研究及び量産化を推進、雇用、販売網を創出するのを目的に新規雇用計画四百人役で進捗率一二割である。

二十一年度飼育数量一万匹、三年後四十万匹を目標に飼育技術は水質管理、産卵育生はカゴに移住してプランクトンによる自然育生、脱皮時の共食防止、餌の手作り等試行錯誤を重ねて、研究開発を推進されていた。

久住放牧場、沢ガニ養殖いずれも雇用創出、再生事業であり、雇用の持続的確保が望まれる。

特に沢ガニ養殖は、量産化、特産品化、販売網の確保等、問題は山積している。順次現地調査、検証を実施していきたい。

##### ・舟場自治会より、要望書の提出があり審議した。

内容は、地域内道路改良、速度規制、街灯設置等の四点でした。担当課に説明を求め委員会で協議し、その結果を舟場自治会に報告した。

### 教委と意見交換会

#### 教育民生常任委員会

八月二十五日、教育委員会との意見交換会を役場で開いた。

今回は、議会の常任委員会構成が替わった為に、これまでの意見交換会で話し合われたことをふまえて、

- ①小中一貫教育
  - ②出前公民館事業
- などについて行いました。

日野町の小中一貫教育の目標を「心豊かにたくましく羽ばたく、日野の子の育成」におき、新しい学習指導要領により小学校への英語活動の導入の取り組みについて。

また、出前公民館事業では、自治会、グループ、PTAなど少人数の集まりに出かけて、皆さんの要望に応え、行政講座、出前映画会、健康づくり教室などを開催する。

地域の学びを応援したいので、教育委員会事務局・町公民館に連絡して欲しいと、教育委員長から要望があった。意見交換し、学校教育と社会教育の認識を深めた。



# 声

町制50周年記念  
にあたり今回(84  
号)より、町民の皆  
さんの「一言」掲載  
を企画しました。ご  
意見をお寄せくださ  
い。

## いなか医者一途

松田 泰彦

私の生まれ故郷でいなか医  
者として一生を過ごして来ま  
した。

私が小学生の時、日野郡最  
奥地の多里で母が事故死いた  
しました。

その時、雪道で医師が間に  
合わず悲しく残念な思いが、  
心に奥深くしみ込んでいます。

振り返ってみると、私たち  
は戦争中に育つた子供で勉強  
時間が少なく、労働時間が  
大半でした。

米子に軍医養成の医学専門  
学校が出来て入学しましたが  
学徒動員され、未成年であり  
ながら軍隊への召集令状を押  
し付けられました。

終戦となり医学専門学校を  
卒業し、初めてできた医師国  
家試験に合格。卒業前に教授

から「医専卒業医師はいくら  
頑張っても教授にはなれない、  
病院長にもなれないぞ」と言  
われた言葉が忘れられません。

私の一生はいなかで医師と  
して暮らし、皆さんからよか  
った、たすかったと思われ  
人になろうと心に誓ってきま  
した。

医師となつてから米子医大  
第一内科へ勤務し、すべて教  
授命令で山陰、日本海地区、  
各地のいなか診療所を渡り歩  
きました。

終わりの頃に岡山県久世病  
院勤務の時、江尾の叔父であ  
る手嶋町長に「日野郡に帰れ。」  
と呼び戻されて、首田医師の  
後を継ぎ、根雨で医院を開業  
し今日まで続けて来ました。  
開業医生活の思い出も色々

ありました。昼夜にかかわら  
ず電話もかかりました。

根雨駅で急行列車のお客を  
診察とか、黒坂警察署の検視  
医とか時には江府町から頼ま  
れて、豪雪の中を山奥地区に  
農家等の往診にも行きました。

みんな断れずに働きました。  
いなかの藪医者で皆様に迷惑  
をかけてはと、米子医師会の  
勉強会に夜は通い続けました。  
この思い出のみが私の心の  
中に温められています。  
現在は日野病院嘱託医とし

て黒坂診療所  
で月・水曜日  
の午後二時か  
ら四時まで勤  
務しています。  
いつまで続  
くのかわかり  
ませんが、頑  
張って行きたい  
と思っています。

朝から晩ま  
で患者さんと  
付き合うと自  
然に疲れも溜  
まるので、ス  
トレス解消に  
絵を描き始め  
たのが、きつ  
かけとなり  
段々深みに入

り込みました。

毎週日曜日に松江の絵師、  
三谷先生宅に通い、先生にす  
すめられて東京上野美術館に  
出品し、遂に新協美術会会友  
・会員・委員の資格を得、現  
在は審査員として毎年、大作  
を出品し続けています。

そのため根雨のお盆の紙灯  
籠の絵まで描くことを頼まれ  
てしまいました。夜の街を歩  
いてみて本当に楽しい思い出  
になり、感謝しています。



盆灯籠絵図制作に励む

## あとがき

今年、町制五十周年を  
迎えた節目の年。お祝いす  
る年であると共に、過去を  
振り返り将来へのスタート  
の年でもあると思います。

▼秋晴れのもと、町民体育  
祭が盛大に行われて我組は  
二つの優勝トロフィー手に  
勝因は若者パワーであった  
ように思います。反省会で  
は若者が公民館に集い、酔  
いが回るほどに将来を熱く  
語り合う微笑ましい光景が  
見られ、頼もしさを感じた。

▼また、西部地震から九年  
フォーラムでは、自助、共  
助、公助を基本として安心  
・安全なまちづくりにはコ  
ミュニティーの重要性和活  
性化が大切であると結論。

▼議会だよりは、情報公開  
と活性化の一翼を担ってい  
ると考えます。そのために、  
今回から町民の「声」を掲載  
することにしました。議会、  
まちづくりに関すること、  
町を良くする提言をお待ち  
しています。▼将来に夢が  
持てる日野町にするため、  
職員として一町民として、  
コミュニティへの関わり  
の大切さを痛感しました。

(副委員長 松本利秋)